



3月号

【発行】平成29年3月10日

御嵩町教育センター

可児郡御嵩町御嵩1239-1

TEL (0574) 67-2111 FAX (0574) 67-1902

E-mail m-kngnkk@town.mitake.lg.jp

<http://www.town.mitake.lg.jp/kyokukenn/syuhin-top.html>

朝霧



校舎東



校舎南

春に想う

可児郡教頭会長
共和中学校教頭

坂井 伸生

冬の校庭に、紅や白の山茶花（さざんか）が咲く頃、校長室で高校受験に向けた面接練習が始まりました。志望動機の質問に、はっきりとした大きな声が返ってきます。「はい。僕は高校見学会に参加をして、その校風が自分に合っていると思いました。」まっすぐ前を向き、明瞭な声で堂々と語る姿に、入学した頃の面影はなく、私は胸が熱くなりました。そのたくましく成長した姿に、隣の校長先生も優しく微笑んでみえました。

思えば3年前の春、彼の中学校生活が始まりました。うつむき加減に校門をくぐる彼に「おはよう。何部に入る予定なの。学級はどう？」と問いかけてみました。「ぼくは・・・水泳を・・・」と、やっと聞こえるような弱々しい声が返ってきました。彼は吃音があり、思いがうまく言葉にならないのです。けれど、毎日、校門でわずかな会話を交わすうちに、彼が真面目で、誠実な人柄であることがわかりました。

そして、彼が昼の放送を担当する生活委員を務めることを知りました。彼が放送当番の日、学級の仲間や私たち教師は、気かけながら、放送に耳を傾けました。「これから、お昼の放送を・・・」スピーカーから、かすかな声が聞こえてきました。小さな声です。けれども、その声を全校生徒はしっかりと受け止めようとしていました。

彼は2年生になっても生活委員を務めようとしていました。話すことが苦手なのに、なぜ生活委員を続けるのか、誰もが不思議に思いました。

私は担任に尋ねてみました。「彼はひたむきに取り組むのです。ですから彼が学級で話をし

ようとする、私が何も言わなくても、みんながシーンと静かになって話を聞こうと耳を傾けるんです。」と、担任は笑顔で教えてくれました。言葉にならない思い、声にならない声もあつたはず。そこには、彼の誠実な人柄を、しっかりと受け止めようとする学級と担任の温かい思いがあることを知りました。それに応え、彼も自分の思いを、仲間に一生懸命届けようと努力をしていました。一日一日、少しずつ自分に自信がもてるようになったのでしょうか。

卒業式間近の朝、校門を通りかかる彼に、「どうして1年生の時、生活委員をやろうとしたの。」と聞いてみました。「自分が苦手なことに挑戦しようと思ったんです。」と、力強い声が返ってきました。朝から、さわやかな気分になりました。

人は、こんなにも成長できるものだろうか。そこには言葉で表せないほどの努力や苦労があつたに違いない。いえ、彼だけではないはず。保護者の顔が浮かんできました。そして、学級や学年の仲間、担任の先生の支えがあつてのものなのです。

学校は素晴らしい出会いのあるところ。中学校の3年間で、子どもたちはたくましく育っていきます。その成長を見届けられる教師は、幸せな職業だと感じます。

冬枯れに咲く山茶花には、「ひたむきさ」とか「困難に打ち克つ」という花言葉があります。今年の校庭の山茶花は、いつもの年より、たくさんのお花を咲かせているような気がします。いよいよ巣立っていく、生徒ひとりひとりの春の到来を願うかのように。

平成28年度
御嵩町教育センター

教育実践論文
入賞者 敬報



▲社会教育部門 偲歴会



▲細野教育委員長より
表彰状の授与



▲受賞者代表の言葉
大城教諭

◆社会教育部門◆◆
【特別賞】

し れ き かい 偲 歴 会	御嵩町観光 ボランティア	中山道案内人 偲歴会 心のこもったおもてなしで私たちが御嵩の歴史・自然を案内します
----------------------------------	-----------------	--

◆教職員部門◆◆
【優秀賞】

戸倉 有紀	御嵩小	【外国語活動】Let's enjoy English class ～みんなが楽しい外国語活動を目指して～
東 菜摘	御嵩小	【体育科】「台上前転」の授業を通して、体力向上をはかる ～「できなかった」を「できた」に近づけるために～
林 拓哉	上之郷中	【英語科】コミュニケーション能力の基礎を養う指導の在り方 ～英語によるコミュニケーション活動を積極的に位置づけることを通して～
大城 真一	向陽中	【生徒指導】一人一人の成長を支える個別支援 ～継続的でいろいろな場面での支援の在り方～

【優良賞】

小栗 雅代	上之郷小	【図画工作科】子どものよさや可能性を引き出す図画工作科授業のあり方 ～「造形遊びの授業」「言語活動を手立てとした授業」の実践を通して～
野呂 大樹	御嵩小	【算数科】習熟度別少人数指導「どんどんBコース」における実践 ～中間層の児童が達成感を味わえる授業づくりを目指して～
石原 美希	伏見小	【国語科】進んで読書に親しむ子の育成 ～1年生の読書指導のあり方～
都竹 利洋	伏見小	【外国語活動】外国語活動における授業展開の工夫 ～やってみたい、活用してみたいと思う外国語活動を目指して～
岩田 綾香	向陽中	【英語科】小学校外国語活動から中学校英語につなぐ指導のあり方を求めて ～小から中へ「ゆるやかな接続」を意識して～
家田 裕美子	向陽中	【特別活動】生徒が安心して生活し、意欲的に活動に取り組むための学級経営 ～集団への手立てと、個への手立て～

【奨励賞】

山本 清美	御嵩小	【特別支援教育】言いたいことは、何？ ～話し方がわかる支援～
金子 慎一	御嵩小	【特別支援教育】発達支援通級指導教室における「ペア学習」の在り方
木戸 隆博	御嵩小	【生活科】児童の気付きを大切に生活科学習
小野木 宏貴	御嵩小	【国語科】読み取ったことを自分の言葉で表現するための指導 ～国語「読むこと」を通して～
名倉 さおり	伏見小	【教育課程】課題意識をもち、意欲的に学び続け、社会参画する児童を目指して ～児童の実態を把握し、個を生かすアクティブラーニング型授業の展開～
仁張 真介	伏見小	【国語科】主体的に学び、読むことの楽しさを実感する児童の育成 ～物語文の読解を通して～
若宮 奈美	伏見小	【人権教育】確かな人権感覚を育む人権集会の在り方 ～認識力・自己啓発力・行動力の育成を目指して～
山村 真之介	向陽中	【数学科】生徒の学習意欲を高めるための取組
脇田 泰教	向陽中	【理科】根拠を明らかにしながら考察する力を高めるための指導の在り方 ～だ液の実験を通して～
細井 一平	共和中	【数学科】「数楽」と感じられる授業をめざして ～生徒の実態把握から考える教材の開発や数学的な活動の工夫～



平成28年度の 教育実践論文を読み終えて

教育実践論文審査員長
御嵩小学校長

綾 績 隆 貞

本年度の御嵩町教育センター教育実践論文には、教職員部門20点、社会教育部門1点の応募がありました。新採2年目の若い先生をはじめとして30年目以上のベテランの先生までの幅広い年齢層から、また教職員だけでなく地域で活躍されている方からも参加いただき、御嵩町の教育の足腰の強さを改めて感じました。ありがとうございました。

社会教育部門の1点は、御嵩町観光ボランティア「偲歴会」の方々の実践報告でした。「地元のことを深く知りたい」という思いで発足したこの会も既に20年を迎えたと聞きます。現在は町の観光ボランティアとして、おもてなしの心を大切にガイドの活動を行ったり、地域の子どもたちとも関わりながら、その学習のお手伝いをされたりしています。

そういった活動もさることながら、今なおガイドの研修や歴史への造詣を深め、会員の質を高めてみえることに敬意を表します。

教職員部門20点の論文は、いずれも日頃の自分の実践の中から問題点を拾い上げ、課題を焦点化し、研究へと結びつけられたものでした。中には、単年度だけの実践でなく、経年実践のものもあり、長い目で児童生徒を育成している粘り強さも感じました。

特に、御嵩町が力を注いでいる外国語教育・英語教育に関する論文が数点寄せられたことは、今日的課題をいち早く捉え、先進的に実践に取り組もうという意欲を感じ、今後に向けての楽しみや頼もしさを感じました。

今日的、先進的という意味で言えば、本年度各小中学校に導入されたタブレットを工夫活用した実践もありました。現代の子供たちの意欲や関心を高め、教育効果を上げていくための一つの手立てが示されていたように思い、これも今後楽しみな内容でもあります。

教科の領域だけでなく、特別支援教育、特別活動等、幅広い領域から実践が集まってき

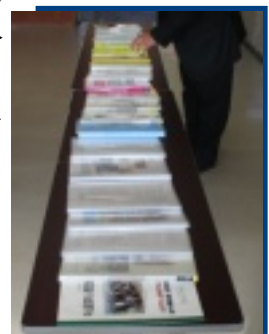
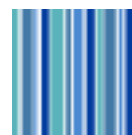
ているのもうれしいことだと感じています。

また、選ばれた優秀論文からは、以下の印象を強く持ちました。

- ①児童生徒の実態を的確に捉え、細かな分析をしながら、目指す児童生徒の姿や研究の出口を明らかにしている。
- ②取り上げた課題に必然性があり、研究仮説も具体的で焦点化されているため、研究内容、研究成果の一貫性を生み、より説得力のある論文となっている。
- ③実践の中に、意欲を高めるための工夫、活動の見通しを持たせるための工夫、自分の考えを持たせるための工夫、分かりやすく表現するための工夫等、数々の工夫がある。
- ④児童生徒の変容の姿を何で検証していくのかが明確であり、客観的なデータを元にして成果と課題を導き出しているため、説得性が生まれている。
- ⑤今日的な教育課題を取り上げて積極的にアプローチを試み、一般化できる成果を導き出そうとしている。

最後になりましたが、年末から年始にかけての忙しい時期に実践論文をまとめられ、応募していただいた先生方に改めて感謝と敬意を表したいと思います。

苦しい中で生み出されたもの（内容）は、必ず自分の血や肉となります。今後もこの実践を大事にされ、数年後に再度挑戦を試みる、あるいは、この実践を通してつかんだことを他の領域において試行してみるなど、さらに自分が飛躍するために今後も精進を重ねられることを願ってやみません。



★優秀論文の中から、1点の論文の概要を紹介しします。また、3月中に発行する優秀論文集に、優秀賞の作品を掲載し、各学校に配置している巡回図書ボックスに入れます。どうぞ、ご活用ください。

〈外国語活動〉 Let's enjoy English class ～みんなが楽しい外国語活動を目指して～

御嵩小学校教諭 戸倉 有紀

1 主題設定の理由

(1) 学習指導要領より

グローバル化が進む現代の社会において、小学校教育では「生きる力」を育てることがますます重要となる。現行の小学校学習指導要領には「コミュニケーション能力の素地を養うこと」が外国語活動の目標であり、「外国語を用いて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成」が重要であると書かれている。子どもたちが生きる力を身に付け、これからの社会を生き抜いていくために、子どもたちが積極的にコミュニケーションを図ろうとするような活動を外国語活動の中で行い、子どもたちが楽しみながらコミュニケーションを図る態度を育成したいと考えた。

(2) 児童の実態より

外国語活動は楽しいですか。	はい(29人)	いいえ(3人)
その理由	・活動が楽しいし、おもしろいから。 ・友達と触れ合えるから。 ・英語が話せると嬉しいから。	・新しく覚えることがないから。 ・英語が話せないから。 ・あまり好きではないから。
進んで話そうとしましたか。	はい (27人)	いいえ (6人)
進んで聞こうとしましたか。	はい (27人)	いいえ (6人)

▲[表1]事前アンケート結果

実践を行うにあたり、子どもたちに事前アンケートを実施した。その結果、外国語活動を楽しいと感じている児童が多く、積極的な態度で楽しみながら取り組んでいることが分かった。しかし、中には楽しくないと感じている児童も数名おり、アンケートの質問内容から、英語を話したり聞いたりすることに苦手意識があるのではないかと考えた。このことから、単元の出口活動を工夫し、楽しみながら英語を話したり聞いたりするコミュニケーション能力の育成を図りたいと考えた。

2 研究仮説

仮説①

児童の実態に応じた指導計画を立て、魅力ある活動の出口を設定することで、どの子どもも楽しみながら意欲的に外国語活動に取り組むことができ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成につながる。

仮説②

コミュニケーションマナーを授業の中で位置づけ、仲間同士でお互いのよさを認め合うことで、コミュニケーションに対する意識が高まる。

3 研究内容

<研究内容1> (仮説①に関わって)

(1) 児童の実態を把握することを通じた単元指導計画の見直しと単位時間の構成の立案

(2) 全ての児童に外国語活動の楽しさを味わわせるための出口活動の充実

<研究内容2> (仮説②に関わって)

(1) コミュニケーションマナーを大切にしたい学び合う学習集団づくり

4 研究実践

<対象> 5年生 37名

<研究内容1について>

(1) 児童の実態把握と単元指導計画の立案

①児童の実態把握

外国語活動の授業をするにあたり、児童の実態を把握するために、事前アンケートを行った。

どんな授業になったら楽しいですか。	・友だちと会話をする授業 ・インタビューできる授業 ・たくさん英語を話す活動がある授業 ・みんなでふれあって、ゲームをする授業
どんな授業になったらつまらないですか。	・話を聞くだけの授業 ・ひたすら英語を覚える授業 ・ただ英語を言って聞いて書くだけの授業

▲[表2]事前アンケート結果 (意見の多い順)

この事前アンケートと、[表1]の事前アンケートから、友達と会話をする活動やインタビュー活動に重きを置き、外国語活動の楽しさを味わいながらコミュニケーション能力の育成を図った。

②単元指導計画の見直し

子どもたちの「たくさん英語を話したい。」「友達とふれあいたい。」という欲求を満たし、外国語活動の楽しさを味わわせるために、単元指導計画を文部科学省から発行されている『Hi, friends!』をもとに、インタビュー活動に重点を置いたものに修正した。

③単位時間の構成の立案

単元の出口活動で設定した、インタビュー活動に自信をもって向かうために、英語での練習の時間を十分確保する必要があると考え、インタビュー活動が中心になる第3時、第4時でも、前半に単語や英語の表現を練習する時間を確保した。

(2) 出口活動の充実

全ての児童が外国語活動で友達とコミュニケーションを図り、外国語活動の楽しさを十分に味わうことができるよう、それぞれの単元で出口活動を考えた。

Lesson 4・・・フルーツバスケットを作ろう

Lesson 5・・・オリジナルTシャツを作ろう

Lesson 6・・・ALTへメッセージを送ろう

それぞれの活動で、子どもたちが目的意識をもってインタビュー活動に取り組む様子が見られた。

<研究内容2について>

(1) コミュニケーションマナーを大切にしたい学び合う学習集団づくり

①コミュニケーションマナーの提示

外国語活動を通して、仲間と積極的にコミュニケーションをとる態度を育てるために、相手の目を見て話すなどのコミュニケーションマナーを身に付けたいと考えた。そこで、掲示物を作り、インタビュー活動の前に確認したり、ウェルカムタイムでよい姿を価値付けたりした。時間を重ねる度にコミュニケーションマナーを意識して活動する児童が増えていった。

②ウェルカムタイムの位置付け

インタビュー活動の中で、コミュニケーションマナーを意識して活動している児童を全体で認め合う場として、ウェルカムタイムを位置付けた。前半のインタビュー活動の中での良い姿を確認し、後半につなげることで、前半よりもコミュニケーションマナーを意識してインタビュー活動に取り組む児童が増えた。

③プライムタイムの位置付け

仲間と積極的にコミュニケーションをとる態度を育てるために、授業の最後に本時のよいこと見つけをするプライムタイムを位置付けた。仲間からがんばった姿、良かった姿として認められた子に対して、全員で「Good job!」と声をかけることで、自己肯定感を味わわせたいと考えた。

5 成果○と課題●

○実践前後にアンケートを実施し、子どもたちの実態を把握することで子どもたちにとって魅力ある指導計画を考えることができ、興味や意欲を高めることができた。また、仲間の良い姿を学級全体で価値付けることによりコミュニケーションマナーに対する意識が高まった。

○担任が主体的に外国語活動に取り組むことで、児童の積極的な姿につながった。

○自分自身が英語を使って授業を進めることに慣れ、ALTとも連携して楽しく進めることができた。

○児童が互いのよさをすぐに言い合える姿が増えた。

質問	事前	事後
外国語活動は楽しいですか。	はい	はい
	29人	31人
	いいえ	
進んで話そうとしましたか。	はい	はい
	27人	29人
	いいえ	
進んで聞こうとしましたか。	はい	はい
	27人	31人
	いいえ	
	6人	4人

▲[表3]事後アンケート結果

●インタビュー活動の中で戸惑っている児童の姿が見られたこともあったため、今後の英語表現の練習方法を工夫したい。また、出口活動については、今後も必然性のあるものを考えていきたい。

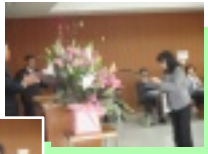




御嵩町教育委員会表彰

御嵩町教育委員会では、スポーツや学芸等の各種大会や、コンクールで 優秀な成績を収めるなど、教育の推進に功績が顕著である場合、表彰を行っています。2月24日に、2名の生徒と向陽中学校が表彰されました。

- ◆伊藤 詩菜さん（向陽中3年）
 - ★平成28年「税に関する作文」に自ら応募し、地区審査、岐阜県審査で優秀と認められ、全国審査において全国優秀賞を受賞。
- ◆内村 磨弥斗さん（向陽中2年）
 - ★卓球の練習に励み、平成28年9月JOC全日本卓球選手権全国大会に出場するなど、他の模範となる活躍。
- ◆向陽中学校
 - ★平成28年度文部科学省委託事業・スーパー食育スクール事業を受け、健全な食習慣の形成による健康な体づくりをテーマに実践。平成29年1月、文部科学省で行った事業発表に高い評価。



▲細野教育委員長からそれぞれの表彰状が読み上げられ、手渡されました。



文化財探訪

No.29



昭和61年 願興寺本堂が国の重要文化財に その3

願興寺本堂は、民衆の力によって再建されたもので、その価値を認められ、昭和61年5月に国の重要文化財に指定されました。その当時の文化庁文化財保護部の資料「文化庁月報」がありましたので、その内容について紹介しています。

○新規指定[社寺建築]

願興寺本堂 一棟 岐阜県可児郡御嵩町御嵩 願興寺

…元龜3年(1572)に武田信玄の兵火により消失、天正9年(1581)に本堂のみが再興された。現在の本堂はこの時のもので、近在の百姓玉置與次郎と市場左衛門太郎の2名が発願し、近隣の人々から浄財を集めて建立したという。しかし、この建立は屋根を板葺石置きとしたにとどまり、宮殿も仮に拵えただけであった。その後、慶長15年(1610)に大久保長安と石原清左衛門により宮殿の寄進があり、寛永元年(1624)には、本堂の小屋組を一新し、垂木を替え、屋根をこけら葺として外観を整えた。…

新規指定された願興寺本堂の概要の続きは、次号、原文で紹介します。



『優秀論文集』

『調査・研究員会 提言集』を発行します

3月中に、教育センター発行「優秀論文集」及び「調査・研究員会 提言集」を発行します。

優秀論文集と提言集は、関係諸機関に配布すると共に、「教育センター巡回図書BOX」に収納します。

今年度の各先生方の実践・研究あるいは活動の集大成を、来年度以降の教育実践に生かしていただければ幸いです。



3月の主な行事

- 1日(水) 上小 授業参観・懇談会
伏小 6年生を送る会
子どもセンター 「ぼけっと73号」発行
- 7日(火) 上小 放課後子ども教室
中学校卒業証書授与式
- 8日(水) 上小 新入児学校体験
御小 緊急地震速報訓練
- 9日(木) 共中2年 卒業生の話の聞く会
- 10日(金) 上小 ぼうさいかみのごう
御小 ことばの教室卒級式
- 13日(月) 御小 かがやき教室卒級式
- 20日(月) 春分の日
- 23日(木) 小学校卒業証書授与式
- 24日(金) 修了式 離任式

※3月25日(土)～4月6日(木)

学年末・学年始め休業日

4月7日(金) 平成29年度 入学式・始業式

オアシス教室3月
カウンセリング日
7(火),14(火)
21(火)

